

体験と気持ちを読み取ろう

解答 P02

本文

【本文】放課後、私は図書委員の仕事で返却された本を棚に戻していた。窓の外で雨が降り始め、早く帰りたいと思って手を急がせた。最後の一冊を戻そうとしたとき、その本の間から古い貸出カードが落ちた。そこには十年以上前の日付と何人もの名前が並んでいた。私は、同じ本を、知らない誰かも読んでいたのだと想像し、急いでいた気持ちが少しやわらいだ。雨音を聞きながら表紙をなでると、図書館が本を置く場所ではなく、人の時間が静かにつながる場所のように思えた。帰るころには、さっきまでじゃまに思えた雨まで、いつもより落ち着いて聞こえた。

問1 | ①出来事を整理する

筆者が本を棚に戻す手を急がせたのはなぜですか。

解答：雨が降り始め、早く帰りたいと思ったから。

補足：「窓の外で雨が降り始め、早く帰りたいと思って手を急がせた」と本文に明示されている。

問2 | ①出来事を整理する

最後の一冊の間から落ちたものは何ですか。

解答：古い貸出カード

補足：「古い貸出カード」が正答。

問3 | ②気持ちを読む

古い貸出カードを見る前の筆者の気持ちとして最も適切なものはどれですか。

ア 雨を楽しみながらゆっくり帰りたい

ウ 昔の読者について詳しく調べたい

イ 仕事を早く終えて帰りたい

エ 図書館にもっと長く残っていたい

解答：イ

補足：「早く帰りたいと思って手を急がせた」ことから判断する。

問4 | ②気持ちを読む

筆者の「急いでいた気持ち」が変わるきっかけになったのは何ですか。

解答：古い貸出カードに十年以上前の日付と何人もの名前が並んでいるのを見たこと。

補足：「古い貸出カードを見たこと」まででも趣旨が明確なら可。

問5 | ③心情の変化

「急いでいた気持ちが少しやわらいだ」とあります。このときの筆者の様子として最も適切なものはどれですか。

ア 早く帰ろうという気持ちが弱まり、本や昔の読者のことに心を向けた

ウ 雨が強くなったことに腹を立てた

イ 委員の仕事をやめたいと思った

エ 貸出カードをなくしたことを心配した

解答：ア

補足：急いで帰ることだけに向いていた意識が、本と読者のつながりへ向いている。

問6 | ③心情の変化

筆者にとって雨は、はじめと帰るころとでどのように感じられるものになりましたか。

解答：はじめはじゃまに思えるものだったが、帰るころには雨音が落ち着いて聞こえるものになった。

補足：「じゃまに思えた雨が、帰るころには落ち着いて聞こえるようになった」という変化が書けていれば可。

問7 | ④理由と心情を読む

筆者が図書館を「人の時間が静かにつながる場所」のように思ったのはなぜですか。

解答：一冊の本を、時代の違う何人もの人が読んできたことに気づいたから。

補足：「同じ本を過去の多くの人も読んでいたこと」と「時間をこえたつながり」の両方が示されていれば可。

問8 | ④理由と心情を読む

帰るころ、雨が「いつもより落ち着いて聞こえた」ことから、筆者の気持ちはどのように変化したと考えられますか。

解答：早く帰りたいと急いでいた気持ちがやわらぎ、周囲を落ち着いて感じられるようになった。

補足：「急いでいた気持ちがやわらいだこと」と「雨を落ち着いて感じられるようになったこと」を含める。表現が異なっても趣旨が同じなら可。